

区分	授業科目	学期	医学知識		臨床能力		プロフェッショナルリズ		能動的学修能力		リサーチ・マインド		社会的視野		人間性	
			人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らの医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
必修	メディカル・プロフェッショナリズムⅢ	1学期					◎	◎	○	◎	○	○	○		◎	◎
	医学英語Ⅲ	1学期	◎	○	○			◎	○	○	○	○		○	○	
	消化器	1学期	◎	◎	◎	○			○	○						
	循環器	1学期				○	○	◎					○	○	○	◎
	一般外科	1学期	○	◎	◎				○		○				○	
	衛生学	1学期		○		○	○						○	○	◎	
	放射線医学	1学期	◎	○	◎	○	○	○			○					
	検査医学	1学期	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	眼・視覚	1学期		◎		○							○		○	
	形成・再建	1学期		◎			○									
	皮膚	1学期	○			○	○	○		○		○				○
	救急医学	1学期		◎	○											
	精神医学	1学期	○	○			○	◎							○	○
	総合診療	1学期	◎		◎		○	◎	○				○	○	○	○
	呼吸器	2学期	◎	◎					○	○						
	脳・神経	2学期	◎	○							○					

区 分	授 業 科 目	学 期	医 学 知 識		臨 床 能 力		プ ロ フ ェ ッ シ ョ ナ リ ズ ム		能動的学修能力		リ サ イ ー チ ・ ド マ イ ン		社 会 的 視 野		人 間 性	
			人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らの医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
必修	内 分 泌・ 代 謝	2学期		○			○		◎			○	○			
	耳 鼻・ 咽 喉・ 口 腔	2学期	◎				○	○	○		○				○	
	ア ド バ ン ス ド コミュニティヘルス インターンシップ (ACHI)	2学期					○	○	○	○			○		○	○
	衛 生 学 実 習	3学期		○		○				○					◎	
	血 液・ 造 血 器	3学期	◎	◎					○	○	○	○				
	産 科 婦 人 科 学	3学期		◎	○				○	○						
	腎 ・ 泌 尿 器	3学期	◎									○			○	○
	小 児 医 学	3学期	○	◎					○		○					
	運 動 器	3学期	◎	◎			○	○	○	○						
	麻 酔	3学期	◎				○	○			○	◎				
	アレルギー・膠原病	3学期	◎	◎	○				○	○	○					
	感 染 症	3学期	○	○	○	◎					○		○			
	病 理 学 各 論 I	1学期	◎	○		○			○	○					○	○
	病 理 学 各 論 II	2学期	◎	○		○			○	○					○	○
	病 理 学 各 論 III	3学期	◎	○		○			○	○					○	○
	病 理 学 各 論 実 習	通年	◎	○					○	○	○				○	○

区分	授業科目	学期	医学知識		臨床能力		プロフェッショナルリズ		能動的学修能力		リサーチ・マインド		社会的視野		人間性	
			人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
自由選択	医学研究室配属Ⅲ	通年	○	○				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	地域包括医療実習Ⅲ		○	○	○	○	◎	○	◎	○	○		◎		◎	◎
	ステップアップ ロシア語								○					◎	○	◎
	初級ウクライナ語								○					◎	○	◎
	ステップアップ 中国語							○	○	○				◎	◎	◎
	アニョンハセヨ！ 韓国語							○	○	○				○	○	○
	病理学演習		◎	◎				◎	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎
	消化器内視鏡学		○	◎	○				○	○	○	○				
	遺伝医療に必要な 確率計算演習		◎		○		○			○					○	
	スポーツ整形外科		○	◎					○		○	◎				
	医療の歴史 (性・内視鏡・がん)		◎				○	○	◎	○	○	○	○	○	○	◎
	病理診断実践演習		◎	◎		○	○	○	◎	◎	○				○	○
自由選択	医療人類学入門 ゼミ:コロナ禍と 出会い直す						◎	○					○		○	◎
	ドイツの学生と 共に学ぶ医学								○	○	○		◎		○	○